



第三期（認定こども園）工事の安全祈願祭が執り行われました

8月7日(金)、学園整備の最終段階となる「認定こども園」新築工事の安全祈願祭が執り行われました。早出市長をはじめ、多くのご来賓や工事関係者の皆様にご出席いただき、工事の無事を祈願しました。

早出市長からは、「各保育園が築いてきた歴史を受け継ぎ、天竜川や高尾山といった豊かな自然環境のもと、子どもたちの笑顔と元気があふれる場所になってほしい。そして、地域に愛され、子どもたちが健やかに成長できる施設となることを期待しています」と、新しいこども園へ大きな期待を寄せる言葉がありました。いよいよ、川岸学園の完成に向けた最後の第三期工事がスタートします。



早出市長より工事の安全と統合新園への期待を込めたあいさつがありました。



工事の始まりを神様に告げ、土地を清める「鍬入(くわいれ)の儀」を行う早出市長。

第三期（認定こども園）工事の契約の変更について

第3期(幼保連携型認定こども園)工事については、「建築」、「電気」、「機械」の3つに分けて発注を進めていました。このうち、建築と機械については本年6月に契約を締結しています。

残る「電気工事」については、2度の入札を実施したものの、業界の諸事情により参加者がなく入札不調となっていました。

最近の人手不足に加え、県内で同種の公共工事が重なり、技術者の確保が困難であったことが主な原因でした。

これを受け、こども園の整備を確実に円滑に進められるよう、すでに契約済みの「建築工事」に「電気工事」を組み込み、一体的に施工する契約方法に変更することとしました。契約変更については、9月の市議会へ議案を提出し、議決されたことから、本契約を締結する運びとなりました。

なお、今回の契約変更は当初予定していた予算の範囲内であり、完成時期(スケジュール)への影響はありません。今後も令和9年4月の義務教育学校の開校、令和10年4月の認定こども園の開園を目指して着実に工事を進めてまいります。



園庭から見た認定こども園 園舎の外観イメージ

岡谷西部中学校内「合同職員室」の運用がスタート！！

夏休み中に予定していた岡谷西部中学校の職員室の電気工事と新しい机や椅子等の搬入が完了し、夏休み明けより正式に「小中合同職員室」の運用がスタートしました。

日中、小学校の先生方はこれまでどおり、仮設校舎の教室で子どもたちと過ごしますが、児童の下校後は合同職員室に移動し、執務に当たっています。

令和9年4月の義務教育学校の開校を前に、これまで別々の場所で勤務していた小学校と中学校の先生が同じ空間を共有し、密接に連携できる環境が整いました。

今後は合同職員会議をはじめ、開校に向けた様々な打ち合わせがこの場所で行われます。小中学校の垣根を越えた活発なコミュニケーションを通して教職員が心を一つに、子どもたちのための魅力ある学校づくりに向けて、開校準備を力強く進めてまいります。



各専門部会の検討状況

学校生活部会の内容 6/17(水)、8/24(月)

行事のあり方についての検討

運動会や音楽会、授業参観などの学校行事について、小・中学校それぞれに子どもが通う保護者の負担軽減も考慮しつつ、合同でどのように実施できるか話し合いを進めました。やがては「運動会」と「体育祭」を一緒にし、地域の皆様にも楽しんでご参加いただける「体育フェス」のような新しい形への発展も見据え、検討を続けます。

「体操着(Tシャツ)」の検討について

8月24日、児童・生徒と教職員で構成する「制服・体操着検討委員会」にて、新しい体操着(Tシャツ)の業者プレゼンテーションを行いました。令和9年度の開校時は現在の制服を着用しますが、Tシャツについては令和9年4月から新しいものへ切り替える方向で話し合っています。保護者の経済的負担を踏まえ、値段を抑えながら、主役である子どもたちの意見やアイデアをしっかりと取り入れて決定していく予定です。

総務部会の内容 5/25(月)、7/21(火)

「校章」、「校歌」の検討について

新しい校章と校歌については、令和10年4月(または同年3月の卒業式)のお披露目を目指してスケジュールを確認しました。夏休み明けからは子どもたちから有志を募り、具体的なデザインの募集や、校歌に入れたいフレーズのアンケートなどを進めていく予定です。子どもたちと一緒に、新しい学園のシンボルを作っていきます。

「開校式典」の検討について

新しい学園のスタートを祝う「開校式典」に向けて、いつ開催するか、どなたをご招待するか、そして式典で何を歌うか(現・校歌や愛唱歌など)について話し合いました。次回以降の会議で、具体的な開催日程や歌う曲を決定していきます。

地域コミュニティ・PTA部会の内容 4/13(月)、5/11(月)、6/1(月)、6/29(月)

新しいカタチ「川岸学園PTCA」へ

現在の小・中学校のPTAを統合し、新たに地域の力も合わせた「PTCA(C＝地域・コミュニティ)組織」としてスタートするための準備を進めています。保護者の皆様の負担を減らし、誰もが参加しやすい組織にするため、役員の人数や選び方を見直し、新しい会則や細則の案を作成しました。

7月には保護者や地域の皆様、教職員へ新組織の概要をご説明し、たくさんの貴重なご意見をいただきました。今後は、いただいたお声を活かしてルール最終調整を行い、来年度の役員選出に向けて準備を進めていきます。